

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

(学)AppreSeed 学院 日野ふたば幼稚園

1. 本園の教育目標

好ましい環境の中で 子どもの安全を守り 個性を尊重し

たくましい体 明るく素直で意欲ある生活態度 創造性豊かな情操を育て 可能性の開発につとめる

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

ひとり一人の幼児を大切にした質の高い教育の実践を目指す

様々な活動を通して幼児の興味関心を高め、豊かな心と健康な体を育てる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育への在り方	B	健康安全への配慮をはじめ、幼児と教師の信頼関係をよく築きながら保育することができた。
2	幼児への対応	B	ひとり一人の幼児に寄り添い、対応を行っている。 要支援児の対応には専門家の意見を取り入れながら対応に努めた。
3	特別指導の対応 体操教室	A	講師との連携を図り、幼児への指導が十分に出来た。特別指導において幼児の意欲を高め、質の高い活動を行うことができた。体操教室では幼児の年齢に応じた活動で身体の使い方を身につけ、年中児パラバルーン、年長児組立体操に取り組んだ。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	ひとり一人の幼児を大切にした保育教育に取り組むことが出来た。 支援の必要な園児には、専門家の意見を取り入れながら対応に努めている。 様々な活動を通してひとり一人の個性を大事にし、それぞれの発達や特性を考慮しながら発達、成長を促すことが出来た。 体操教室では、年齢に応じた身体の使い方を身につけ、一人一人の力を発揮しながら全体の動きに繋げることが出来た。 コロナが5類に移行し、運動会やお泊まり保育などの行事を以前のような形で行うことが出来たことが園児にとって達成感や自信につながる良い経験になり、保護者にとっては喜びとなった。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	園庭や園舎内の環境、教材教具について話し合い、幼児の園生活がより充実するよう、幼児の発達に沿った環境の構成に取り組む
2	安全管理	地震などの災害や緊急事態に備えて、危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図り、日常の訓練を強化する
3	幼少接続	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有しながらそれぞれの年齢に合った保育を行い、教育内容の中で子どもの姿を捉えて理解し、小学校接続へ繋げる

6. 学校関係評価委員会の評価

コロナが5類に移行し、お泊まり会や運動会などの行事を以前の形で行う事ができてよかった。運動会では体操教室の成果がよく現れ良い演技を見ることが出来た。今後も継続して子どもたちの活動や行事が今後も十分に行われるようにしてほしい。また、安全管理面で、地震などの災害に備えた対応がいつでも出来るように努めてほしい。